



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2012年6月15日

報道関係各位

無菌充填技術でPETボトルの低資源化 27%達成！
道内初、「無菌充填」で果汁入り炭酸飲料の生産開始
新技術の採用で新鮮さと低資源化を両立

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 社長:矢吹健次)は、札幌工場
で今年3月から稼働した新マルチPETラインにて、5月27日から北海道初の無菌充填技術を用
いた果汁入り炭酸飲料「シュウェップス ブリティッシュ レモニック」410ml入りPETボトルの生
産を開始いたしました。

札幌工場新マルチPETラインでは薬剤を使用しない容器殺菌方法である「エレクトロン・ビーム
殺菌」技術をはじめとする無菌充填方式を採用しているため、充填・密封後の殺菌工程が不要
になることで、内容液への加熱時間が短縮されることから、果汁のフレッシュ感や瑞々しさを楽し
んでいただけます。

通常、果汁入り炭酸飲料のPETボトル生産工程では、充填・密封後に熱水シャワー殺菌工程
が必要とされたことから、PETボトルも熱に強い強固な設計が求められますが、新マルチPETライ
ンの無菌充填方式により、この殺菌工程が不要となり、従来の果汁入り炭酸飲料に用いていた
PETボトルと比較して、約27%低資源化いたします。

また、「エレクトロン・ビーム殺菌」の採用により、PETボトルの洗浄水の使用量を削減でき、環
境にも優しい生産方式となります。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道や地域の魅力
をさらに高める活動を継続的に実行してまいります。これからも安全安心・住み良い地域づくりを
応援する取り組みや、次世代を担う子どもたちへ環境を考える場を提供する活動などを、地元道
産子企業として事業活動を通じて継続的に推進して参ります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報・CSR推進部 亀山、佐々木(TEL 011-888-2091)

(参 考)

【新マルチ PET ライン概要】

1. 所在地 : 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
(本社:札幌市、代表取締役社長:矢吹健次 北海道札幌市清田区清田一条一丁目2-1)
2. 生産能力 : 毎分 600 本 (500ml 生産時)/毎分 200 本 (2,000ml 生産時)
3. 製造能力 : 約 800 万ケース/年
4. 生産品目 : 280ml~2000ml ペットボトル(炭酸・無糖茶・スポーツ飲料・ミネラルウォーター他)
5. ライン仕様 :
 - ・無菌充填方式



無菌環境で殺菌した PET ボトルに殺菌した内容液と充填し、キャップの取付けまでを完了する充填方式で、PET ボトル入りのお茶、コーヒー等の中性飲料の充填に用いられる技術で、この度、全国のコカ・コーラシステムでは北海道が初めて炭酸飲料にも採用した。

・エレクトロン・ビーム殺菌



ボトル殺菌過程でエレクトロン(電子)の束を照射することによって殺菌。従来は過酢酸、過酸化水素水などの薬剤を使用して、ボトルの殺菌をしているが、薬剤および洗浄水が不要。同殺菌方式はミネラルウォーター以外に炭酸・無糖茶・スポーツ飲料等に適用。コカ・コーラシステムの目指す環境目標を達成するために具現化したライン構成。殺菌能力は従来と変わらない。

・モノブロック形式

従来はボトルブロー機から殺菌・充填機までは長いコンベアでつながれていたが、ボトルブロー機と殺菌・充填機が連結され、コンベアがない形式。従来に比べ省スペース設計、ローコストが特徴。

・ロールオンシュリンクラベラー



ラベルの原材料を薄肉化できるロールラベル技術と容器の複雑な形状に適したシュリンクラベルを一台で両方可能となるラベラー。従来よりも環境に配慮したシステム。

6. 総工費 : 約 42 億円

【シュウェップス プリティッシュ レモントニック 410ml 入り PET ボトル】

・当商品の詳細につきましては、別途 6 月 7 日発表のニュースリリースをご参照願います。